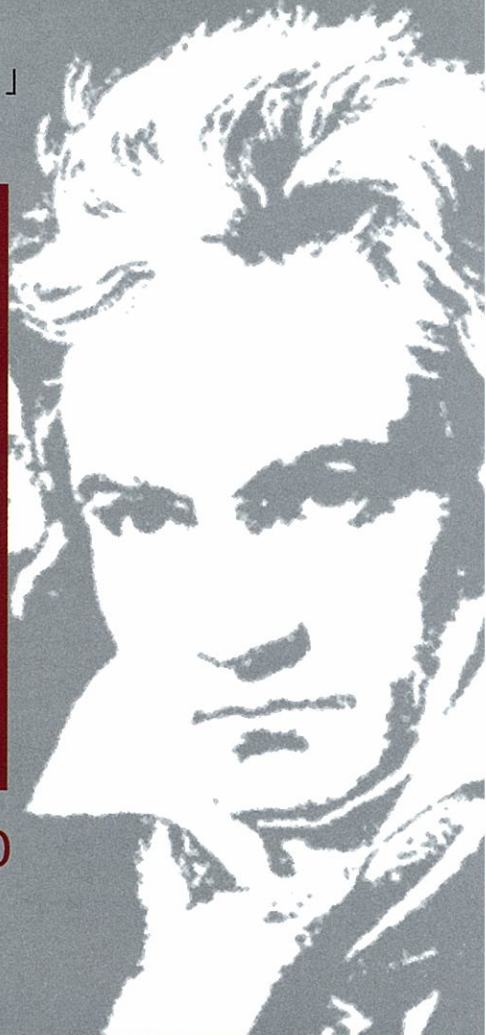


ベートーヴェン 演奏会 第九 交響曲

2011年12月11日(日) 開演15:00
(開場14:30)
安城市民会館サルビアホール



Program

ベートーヴェン
「エグモント」序曲 作品84

ベートーヴェン
交響曲 第9番 ニ短調 作品125(合唱付)

演奏 愛知学泉大学オーケストラ
安城学園高校弦楽部
特別合唱団“フロイデ”

指揮 吉見 光三
ソプラノ 大須賀 園枝
アルト 相可 佐代子
テノール 加藤 利幸
バリトン 澤脇 達晴

入場料 2,000円
全席自由 前日・当日共に

【前売所】安城学園高校 事務局(☎0566-76-5105)

【問い合わせ】愛知学泉大学オーケストラ
スタッフ石川(☎090-3309-8403)



出演者プロフィール

指揮者

吉見 光三



京都市立音楽短期大学(現・京都市立芸術大学音楽学部)を経て専攻科修了。トロンボーンを大和久俊寿氏、指揮法を外山雄三氏に師事。1969年に安城学園高等学校吹奏楽部の顧問となり、1995年には全日本吹奏楽連盟主催の全日本吹奏楽コンクールにおいて全国大会初出場で金賞を受賞。昨年2010年までに3度の3年連続全国大会出場(計12回)を果たす。全国学校合奏コンクール(オーケストラ)では2度の最優秀賞(第1位)総理大臣賞を受賞。

また、指導する吹奏楽部は音楽を通した多くの国内外の交流活動が認められ、1988年愛知県芸術文化選奨文化奨励賞、2005年愛知県国際交流推進賞、2007年安城市文化協会特別賞を受賞、2009年には三井住友文化財団より表彰と助成金を受ける。1997年には愛知学泉大学オーケストラの創設と同時に音楽監督兼指揮者に就任。以来、N響ソロコンサートマスターの堀正文氏、ピアニストの陳政宇氏・田村響氏、ユーフォニウム奏者の外園祥一郎氏をはじめ、ウィーンフィル、ニューヨークフィル、N響、東京都響などから多彩なゲストを招き協奏曲等で共演している。2001年には大学オーケストラの管楽器と打楽器メンバーで吹奏楽研究会を結成し、吹奏楽コンクール初出場にして大学の部で見事全国大会出場を決める。その他、豊田シティバレエ団「くるみ割り人形」公演、安城第九を歌う会』とのベートーヴェン第九交響曲の指揮を勤める。

これまでに、1988年JBA(全日本吹奏楽指導者協会)より優秀指導者賞、2010年東海吹奏楽連盟創立50周年功労賞、2007年中部日本吹奏楽連盟創立50周年功労賞を受賞。また2011年日本吹奏楽連盟より永年勤続表彰を受ける。

現在、吹奏楽コンクール及びアンサンブルコンテスト審査員、吹奏楽連盟講習会及び課題曲講習会講師、愛知県吹奏楽連盟副理事長、全国高等学校オーケストラ連盟理事、愛知県中学校・高等学校オーケストラ連盟理事長、安城学園高等学校吹奏楽部・弦楽部顧問、愛知学泉大学オーケストラ音楽監督兼指揮者、愛知学泉ウィンドオーケストラ音楽監督兼指揮者。

演奏

愛知学泉大学オーケストラ

1997年にNHK交響楽団ソロコンサートマスターの堀正文氏を顧問に迎え、音楽監督兼指揮者の吉見光三氏のもとに愛知学泉大学オーケストラとして結成。現在団員68人で、年に二回の定期演奏会や施設・幼稚園・小学校などへの訪問演奏、地域でのイベントなど幅広く活動している。

2000年にはウィーン・ブダペストへ海外演奏旅行。ウィーンフィル・チェロ奏者ロベルト・ナジ氏を客演に迎え、ウィーン・ムジークフェライン大ホール・リスト音楽院大ホールにてヨーロッパデビューを果たす。2002年にはアジア海外演奏旅行へ行き、～中国(上海・韓国(ソウル)・ベトナム(ハノイ)～上海音楽院ピアノ奏者陳政宇氏を客演に迎え、アジアの若者たちと交流。11月、国際ユースオーケストラを結成。また地域の方々と合唱団を結成し「ベートーヴェンの第九交響曲合唱付き」の特別演奏会を豊田市民文化会館大ホール、愛知県芸術コンサートホールにて開催。2003年3月、第3回海外演奏旅行で中国(上海・青島)、7月ドイツ・ツォルナー・ユグントオーケストラとジョイントコンサート、8月万博での演奏会、イタリアのフルート奏者アンドレア・グリネッリ氏と共演。2007年、第4回演奏海外演奏旅行。～デンマーク(コリング)ドイツ(イェナ)～コリング音楽学校フルート奏者セーリアー・ホイコー・ニールセンと共演。2006年、2010年「安城第九をうたう会」と共演。2009年3月、学校法人安城学園95周年記念委嘱作品「ミサ曲第1番 平和への祈り」松下耕氏作曲を初演。

このような幅広い活動の中で「音楽は人と人をつなぎ合わせる」ということを心に、音楽を通して出会っている人々との交流を大切に活動している。



安城学園高校弦楽部

私たち弦楽部は、美しい弦楽器の響きが学校から街へ、そして世界へと広がるように、弦楽アンサンブルから吹奏楽部や学泉大学オーケストラとの合同による大編成の管弦楽曲まで様々な曲に取り組んでいます。また、吹奏楽部と合同で参加する全国学校合奏コンクールでは、3年連続で優秀賞(全国第2位)を受賞できました。



ソリスト

大須賀 園枝／ソプラノ



名古屋芸術大学卒業。沢脇達晴氏に師事。サルデニア・キャリアリ夏期国際音楽アカデミーにおいてカーテリア・リッチャレリに師事。モリス・ラヴェル国際音楽アカデミーにおいてフランソワーズ・ボレに師事。

第9回ソリストコンテスト優秀賞、第4回万里の長城杯国際音楽コンクール第3位。第113回日本演奏連盟推薦新人演奏会出演。(名フィル)中日賞、名古屋芸術大学賞受賞。第35回イタリア声楽コンクールソプラノ部門入賞。第36回、第40回同コンクールソプラノ部門入賞。

コンサートでは、「第九」「カルミナ・ブрана」「フォーレ、レクイエム」「合唱幻想曲」「ブルネッタ」「モーツァルト、レクイエム」のソリストを務める。

オペラでは「オベロン」人魚、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「カルメン」ミカエラ、「こうもり」アデーレ、「椿姫」ヴィオレッタ等、いずれも県内主要オーケストラと定期演奏会等で共演。愛知万博にて「カルメン」フラスキータで出演。2007年NHK名古屋ニューイヤーコンサート、2008年FM名曲リサイタル出演。2009年東京二期会オペラ研修所第52期マスタークラス修了。修了時に優秀賞受賞。

インターンシップ研修として、二期会本公演「蝶々夫人」蝶々さんのアンダースタディに指名される。東京二期会サロンコンサート等に出演。現在、佐々木典子氏に師事。東京二期会会員。

加藤 利幸／テノール



三重県出身。名古屋芸術大学大学院音楽学部オペラ研究科首席修了。同大学院音楽学部オペラ研究科実技補助員。声楽を指揮者レナート・バルンボ、バリトン大貫史朗、テノール中島基晴の各氏に師事。2001年、2002年、2003年、リリカイタリアーナオペラ協会コロソを修了(イタリア・ベッルーノ)。2004年、中島基晴氏との出会いによりバリトンからテノールへ転向。2006年、2007年「イタリア声楽コンクール(第37・38回)」金賞及びテノール特賞受賞。2007年「マダム・パタフライ世界コンクール(第9回)」ディプロマ入賞。これまでに、伊・ベッルーノ・モーツァルト音楽院(Accademia W.A.Mozart)のガラコンサートに3年連続出演。伊・フィラルモーニアベネータ交響楽団(マルコ・テイトット指揮他)と共演。

オペラでは「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、「アイダ」ラダメス役、「ナクソス島のアリアドネ」バックス役、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドウ役、「バリアッチ(道化師)」カニオ役、「シモン・ボッカネグラ」ガブリエーレ役、「リゴレット」マントヴァ公爵役、「エフゲニー・オネーギン」レンスキー役、「イデメネオ」タイトルロール、「ドン・パスクワレ」エルネスト役など、及びオペラハイライト、オペレッタ「サルタンバンク」アンドレ少尉役、ミュージカル「本能寺が燃える」織田信長役に出演。他にベートーヴェン交響曲「第九」(テノールソリスト)等。

3.11東日本大震災より、被災地の避難所数十カ所に、支援物資を直接届けるとともに無料コンサートを精力的に行っている。

Yahoo!ブログ、加藤利幸「ラララ～♪こっちへ来いよ!」更新中。JHP学校を作る会会員。趣味はオープンカーやクロスバイクで川沿いドライブ。

相可 佐代子／アルト



名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。吉見康子女士に師事。パリ・エコールノルマル音楽院修了。2001年に徳川日仏財団共催パリ市立シャトレ劇場の研修生として渡仏。同劇場音楽監督、S.ヴァタン女士と共に研鑽。同劇場においてお昼の歌曲リサイタル、パリ・アテネ劇場やミッテルベルクハイム音楽祭にも出演する。2003年、エコールノルマル音楽院よりジャン・バステギ、アルベール・ルーセル奨学金を受け、I.ガリシザンズ女士と研鑽、同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。2005年、2006年シャトレ劇場オペラアンサンブルメンバー。帰国後も「ナクソス島のアリアドネ」(作曲家)、「ヘンゼルとグレーテル」(ヘンゼル)、「子供と魔法」など多数のオペラに出演。ベートーヴェン『交響曲第九番』、ヘンデル『メサイア』などのソリストも務める。また最も得意とするオペラ「カルメン」(タイトルロール)での出演は数多い。昨年10月に行われた帰国後初リサイタル(名古屋・電気文化会館コンサートホール)では、名古屋市民芸術祭賞(音楽部門)を受賞。今年7月、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。

澤脇 達晴／バリトン



東京芸術大学大学院修了。1984年、日伊コンクール第1位シエナ大賞受賞。2004年、名古屋芸術奨励賞受賞。第19回大衆文化・福祉応援賞受賞。1992年に名古屋芸術大学海外研修員として渡米、インディアナ大学客員研究員として研鑽する。国内外で数々のオペラやコンサートに出演の他、名古屋演奏家ソサエティーという演奏者団体を主宰し名古屋での創作オペラ制作活動に参画している。代表的な作品にオペラ「BENKEI」「鶴」「闇魔街道夢の中」等がある。今年12月にはかねてから温めていた新作オペラ「おんな忠臣蔵」の上演に携わり大石内蔵助役にも出演する。

現在、名古屋芸術大学教授、藤原歌劇団団員、名古屋演奏家ソサエティー代表、日演連会員、福山シティオペラ会員。